

豊かな森林を未来にのこそう

もりのかぜ だ・よ・り

No.43

夏号

認定非営利活動法人 森林の風
会長 瀧口邦夫/令和4年8月発行



例年どおり今年も「まちのきこり人育成講座」が実施されました。
新しく13名の木こり人が誕生しました。これからの活躍を期待します。

第43号 ラインナップ



- ・ 2022年夏号ご挨拶 _____ ②
- ・ 「2022年度 まちのきこり人育成講座」報告 _____ ③ ④
- ・ レベルアップ研修会報告 _____ ⑤
- ・ 令和4年度 事業計画 _____ ⑥ ⑦
- ・ 認定NPO法人森林の風からのお知らせ _____ ⑧
- ・ 森林の風現在の状況 _____ ⑧

森林施業 認定NPO法人



連絡先/〒512-0933 三重県四日市市三滝台4丁目15-7 TEL059-321-7719 携帯電話090-9663-4088
菰野事業所/〒510-1251 三重県三重郡菰野町千草7045-82

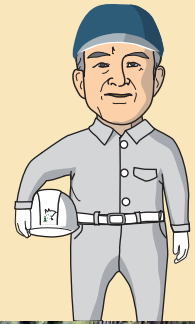
<http://www.morinokaze.info>

*詳しくは、ホームページまたは上記まで問合せください。

2022年 夏号ご挨拶

「水源の森環境保全」を大切に

認定NPO法人 森林の風 会長 瀧口 邦夫



木を見て、森を見て、山を見て自然と向き合えるようになると技術習得が必要になる。伐採・搬出道具を安全に使うことが求められる。数百年続いている森に関わる仕事に、検定(資格)ビジネスが入ることに違和感を覚える。このような手法に適度にかかわりながら数十年間森に関わった先人の知恵と技術をいかに生かすかが重要です。先人に学ぶ基本が命の源である「水」を守ることであると思います。農業や漁業を含め、水の恵みを受け、管理することが重要でした。私を指導してくださった方は、「共に汗をかくことで、共に考えることができる」と言われました。AIの社会になっても基本は変わらない。この原点に戻って、「水源の森環境保全」を最優先した活動が大切であると思います。共に汗かきに森に入りましょう。



事務局より



写真は、昨年見学に訪れた高知県馬路村の千本山風景林の林床です。樹齢200~300年、樹高50メートルにもなる魚梁瀬杉の巨木が林立しています。整った林内では、十分な水分に恵まれて切り株にも苔、シダが生えまた、実生が育つそんな環境が出来上がっています。ここでは、おそらく長い時間をかけて有機質を十分に蓄えた地下水が下流の水質を支え、様々な生き物の源と

なり海へと流れ出ます。森林の風は、創設以来、水源の森をテーマに活動してまいりました。水・光・土・風この4つのキーワードを大切にすることで水源の森の保全を進めております。いずれ千本山風景林のように「緑のダム」として下流へ恩恵を与えるそんな森林に変わっていくことを願っています。

2022年度 まちのきこり人育成講座 報告

2022年度の「まちのきこり人育成講座」は、13人の応募があり、例年通り3月の基礎編と、4月から6月にかけて7回の講座を実施し、「森林整備」「人工林施業」「安全なチェーンソーの使い方」「チェーンソーによる伐倒技術の習得」「森林活動における安全管理」などの項目について充実した講座を開催することができました。

◆ 3月13日「基礎編」



樹木について説明中



森林休息



菰野富士山頂にて

菰野富士周辺にて、現在の森林の様子などをお話ししながら菰野富士山頂まで散策しました。今年のトピックは、森林の風が整備したアカガシの森で「森林休息」の体験をしていただきました。今後、このような森林環境を利用した癒しの体験も環境教育の一環として取り入れていく予定です。

◆ 4月10日「きこり体験」



のこぎり間伐



枝打ち

森林整備作業における考え方、注意事項、そして森林の風の理念をお話しし、のこぎり間伐と枝打ちの実習を行いました。

◆ 4月17日「森を測る」



コンパス測量



樹高測定

森林整備計画を立案するのに必須である測量と標準地調査の実習をしました。

◆ 4月24日「チェーンソーに触れる」

チェーンソーの構造・安全な使い方・メンテナンスそして、実際にチェーンソーを使って丸太の玉切り等を実習しました。



メンテナンス中



玉切り

◆ 5月15日「チェーンソーで伐る①」

チェーンソーで実際の立木の伐倒を行うためのトレーニング。まなびの森にて丸太を立てて疑似的に、伐倒の基本となる受け口作成をとことん実習しました。（講師は、黒滝村森林組合の梶谷さんにお申し込みしました。）



安全な作業について講義中



疑似立木にて実習中

◆ 5月22日「チェーンソーで伐る②」

いよいよ、林内での伐倒実習。前回の練習の成果が窺えました。



チェーンソーによる伐倒



枝払い

◆ 5月29日「チェーンソーで伐る③」

3回目は、倒しにくい木を牽引具を用いて伐倒する実習です。（講師は、山造舎の川島さんにお申し込みしました。）



牽引具の使用方法について説明中

◆ 6月12日「安全・衛生講習」

育成講座の最終回は、例年通り安全・衛生講習です。熱中症対策等の身体的な管理対応から、森林の危険な動植物についての講座です。その後、ダミー人形を使用して、AEDの使用方法及び、胸骨圧迫

による救急救命法の実習を行いました。（講師は、三重大学附属病院救急救命科の看護師である、森川さんにお申し込みしました。）



講義中



胸骨圧迫の実習中

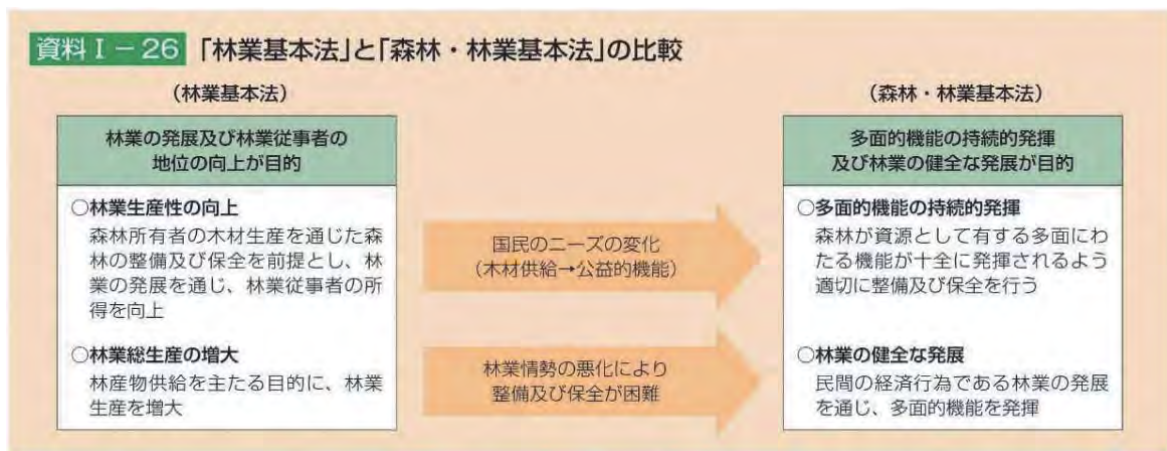
2021年度 第3回レベルアップ研修会 報告

ぎふフォレスター協会 代表理事 小森胤樹(こもり つぐき)氏

2021年度第3回のレベルアップ研修会は、コロナの影響で延期を余儀なくされ4月2日の開催となりました。大変有意義な内容でした。その一部をご紹介します。

森林環境譲与税ができた背景

- 平成13年 林業基本法から森林・林業基本法へ法改正
 <<林業基本法と森林・林業基本法の違い>>



● 旧制度から新制度への主な変更点

- ① 新しく事前に「森林経営計画」の作成・認定が必要。
- ② 5ha以上の間伐施業実施面積が必要。
(複数の森林所有者の森林を取りまとめる：施業の集約化)
- ③ 平均10m³/ha以上の木材の搬出間伐が必要。

● 令和4年度の変更案

- ① 保育間伐の齢級上限の改定：35年生⇒60年生まで拡充
- ② 5haの面積要件の廃止

● CO2の排出規制の視点

- ① 平成13年 京都議定書、マラケッシュ合意。間伐でもCO2の吸収を認める決定。
- ② CO2吸収確保のため、一定の間伐面積を確保する必要性が生じた。

上記のような条件のもとCO2削減を達成するため、森林環境譲与税が策定された。

右表のように、2030年までCO2吸収量の成果が求められます。

我が国の温室効果ガス排出削減と森林吸収量の目標(地球温暖化対策計画)

	地球温暖化対策計画
	2021~2030年 これまでの目標 → 新たな目標 ※
日本の温室効果ガス削減目標	2030年度 26% → 46% 2013年度 総排出量比
森林吸収量目標	2030年度 2.0% → 2.7% (同上記)

※これまでの目標は平成28年5月の地球温暖化対策計画、新たな目標は令和3年10月の地球温暖化対策計画に記載

※ この研修会の内容を踏まえて、6月に三重県四日市農林事務所の水上氏に「森林におけるCO2の吸収」についてご講義いただきました。また、合わせて三重県環境情報センターの木村様より「林業とSDGs」についてワークショップをしていただきました。

令和4年3月20日(日)の第18回通常総会にて満場一致で可決されました。

令和4年度 事業計画

認定NPO法人森林の風

1. 活動方針

- ① 安全作業が何よりも優先される、「危険予知能力の向上」そして「実践する」姿勢をもって、森に優しい森林施業を進める。
- ② 持続可能な組織にするため、会員の確保・育成に努めると共に、活動拠点の整備に努める。

2. 事業計画 ◎印は寄付金を充当する事業

事業名	事業計画	上段:地区全体概要 下段:令和3年度事業計画	会 員 延 活 動 人 数	受 益 者 延 参 加 者 数
1. 人工林総合施業				
◎ 向井 F 1	<ul style="list-style-type: none"> ● 亀山市加太向井9.4ha(鈴鹿森林組合所有林)。平成17年～本田技研(株)の協力により、間伐、歩道作り、定点観測、ホンダの森林保全活動の場所として活用してきたが、平成28年度をもって本田技研(株)撤退した。 ● 平成29年度からは独自の管理林としたが、活用方法が見出せていない。令和4年度は各種団体の森林環境教育の場として活用要求があれば再開する。 		0	0
エイチワンの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森((株)エイチワン)。亀山市三寺町0.81ha(堤氏所有)。平成26年11月～30年10月。平成30年12月より、亀山市三寺町の私有地(地権者4人)2.48haの契約を結ぶ(平成30年12月～令和5年11月)。 ● 林内の間伐・歩道作りを進めると共に、年2回(5月、11月)の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	150
三重県民の森	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年12月に①ヒノキの森及び生産の森の間伐②枯損木の処理③森林学校の開催について「三重県民の森管理に関する協定書」を締結。● 今年度は①ヒノキの森及び生産の森が間伐の必要性が出た為、予算取りが出来れば対応する。また、イベントの依頼があれば対応する。 		50	20
コメダの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森((株)コメダ)。菰野町千種6ha(スギ、ヒノキ林)。平成29年10月～令和4年3月。散策路整備、森林整備(主として間伐)、及び年1回の森林保全活動イベントを継続して行う。令和3年3月より、現施業地を含め28haに拡大10ヵ年計画で行う。 ● 毎月第2火曜日を社員参加の林内整備活動に設定し、間伐は前年度の続きと1.6haの間伐申請を行う、散策路と作業道の延伸も順次行う。 		120	80
私有林 森林施行	<ul style="list-style-type: none"> ● 活動余力が生ずれば後日調整する。 		0	0
森林組合協同事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林組合からの要請に応じて対応する。 		10	0
2. 里山再生				
こもれびの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(NTN(株))、桑名市多度山4.5ha、第1期平成22年11月～27年3月でサクラ、モミジ1000本植樹。平成27年度から2期目、令和2年度から3期目(令和2年4月?7年3月面積4.24ha)。 ● 過年度植樹苗の保育、歩道補修、間伐、年1回(3月)の森林保全活動イベントを継続して行う。 		70	50
憩いの杜	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(ティ・エステック(株))、桑名市茅ヶ崎2.9ha。第1期平成24年11月～29年3月。第2期29年4月～令和4年3月。 ● 今年度もTsテック(株)は企業の森の継続希望もあり県の方で施業地を調査中である。 		0	0
TOYOTIRES 緑のつながり・三重	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(TOYO TIRE(株))、東員町城山5.27ha、平成26年10月～令和1年9月。2期目活動継続令和1年10月～6年9月。 ● 過年度整備済林内の再整備・城山小学校の隣地雑木林の整備を6回(社員参加5回)と社員親子参加の森林保全活動イベント(鳥の巣箱作成・取り付けと子供向け森林教室)を継続して行う。 		70	110
ブレンディの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(味の素AGF(株))。平成26年10月～令和1年9月。2期目活動継続令和1年10月～令和6年9月。亀山市関町沓掛2.56haの雑木林に加え平成30年1月に10.78haの人工林を追加契約した。 ● 令和4年度活動は、1期、2期目のCO2吸収量評価と間伐を主体に行う、又森林保全活動はコロナの影響で秋に全社が1回、鈴鹿が1回で小人数で開催予定である。 		90	30
ホンダの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(本田技研工業(株))亀山市関町坂下2.61ha(大滝(県行造林地)、平成29年4月～令和4年3月)。 ● 令和4年3月で契約終了し又ホンダの意向で新しく活動地を里山・田畑へ移し森林の風と再契約し活動をしたい要望があるが未決定。 		0	0
アカガシの森再生	<ul style="list-style-type: none"> ● 菰野町からの受託。平成28年度にパッチディフェンスを4基設置し、除伐、アカガシその他広葉樹の植栽を行った。令和2年3月パッチディフェンス2基増設(アカガシ100本植樹) ● 令和4年度は、ダイダンの森(企業の森)として整備保全活動を行う。 		0	0
JAバンクの森 ・菰野	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(三重県信用農業協同組合連合会)。菰野町千種1ha(千種財産管理組合)。平成29年11月～令和4年10月。 ● パッチディフェンス2基内の(アカガシ、ミツマタ、シャクナゲ)下刈り等活動範囲の維持管理を行う。11月からはダイダンの森に管理が変更される。 		15	0

ふれあいの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森((株)ホンダロジスティクス)。菰野町千種2ha(千種財産管理組合)。平成30年3月～令和2年3月。2期目(令和2年4月～5年3月)継続。 ● 令和4年は林内整備活動を継続し、活動に合わせて社員参加による整備を継続して行う。 	80	80
鈴鹿の森(仮称)	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森((株)鈴鹿)。菰野町千草4.5ha(千草財産管理組合)。令和3年度～7年度で契約。 ● 令和4年は林内整備活動を継続し、活動に合わせて社員参加による整備を継続して行う。 	70	50
ダイダンの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 企業の森(ダイダン(株))。菰野町千種5.1ha(千種財産区管理組合)、菰野町千種0.2ha(鳥居道山財産組合)合計5.3ha。令和4年11月からは、JAバンクの森1.0haを加えて6.3haとなる。令和4年度～8年度で契約。 ● 令和4年度は、植樹、歩道整備、除伐等林内整備と活動に合わせて社員参加による整備を行う。 	96	50
私有林整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 奥田園0.24ha管理、菰野町植樹木の管理。 	30	0
3. 竹林整備			
◎下大久保	<ul style="list-style-type: none"> ● 鈴鹿市下大久保町自治会所有1.70haの竹林について自治会と契約。第1期平成23年8月～29年8月を終え 第2期平成29年9月?令和5年8月の6年間を更新契約。 ● 竹林の整備を年2～3回行う。タケノコの収穫および竹材の確保する。 	30	0
4. 森林施業基礎講習			
◎まちなきのきこり人育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ● 基幹事業の1つで平成18年から始め令和3年度までに16回開催、215名が受講している。(令和3年度は8名受講) ● 令和4年度も4～6月に7日間の日程で開催する。併せてフィールド見学会等を検討する。 	60	84
◎レベルアップ研修(施業実技講習)	<ul style="list-style-type: none"> ● 会員等の知識・技術のレベルアップを目的に年5回程度開催する。 	60	40
出張まちなきのきこり人育成講座	<ul style="list-style-type: none"> ● 依頼があれば対応していく。 	0	0
5. 森林活動体験研修会			
◎まなびの森	<ul style="list-style-type: none"> ● 菰野町江野0.4ha、平成21年活動開始、三重銀行協働。 ● 年数回三十三銀行有志と共にフィールド管理すると共に、工作教室イベントを行う。又、道具類整備資機材・薪・苗木・キノコ類の保管、活動全般の準備作業の場として活用する。 	150	50
◎御在所岳GOGO植樹	<ul style="list-style-type: none"> ● 鈴鹿国定公園制定50周年を記念して5500本の植樹を目指し、平成24年から始め平成30年末に2230本植樹された。 ● 令和3年度はカモシカセンター跡地に200本の植樹(三十三銀行主催)を行った。 ● 年数回植樹地の維持管理を行う。三十三銀行の植樹イベントを行う。 	40	40
◎学校等 森林活動体験	<ul style="list-style-type: none"> ● 常磐西小学校2回(裏山整備及び授業)。 ● 桑名市環境学習。 	40	300
◎ナラ枯れ研究	<ul style="list-style-type: none"> ● 28年度からの独自研究。三重県民の森において、ナラ枯れ再生研究調査のため、2基のパッチデフェンス内で木炭による土壌中性化、及び追跡調査を行っている。 ● 令和4年度に調査結果を取り纏めて今年度で終了とする。 	10	0
◎新たな技術の確立	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成29年度に「植樹木の成長を促すための土壌分析」キットを購入整備した。第1ステップとして菰野富士周辺におけるサクラ、アカガシ、シャクナゲ等に対する植樹地の適正評価から始め、第2ステップとしてホンダの森、コメダの森と調査範囲を拡大している。 ● 平成29年度にドローンを購入整備した。各施業地の整備進捗状況を空撮して。今後の活動に生かしたい。 ● 平成30年度に助成金で精油抽出器を購入、現在多くの樹木で抽出が出来る事を確認済みで今後、イベント等でデモを計画する。 	30	0
◎イベントの参加	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントの要請が有れば前向きに考える。 	0	0
6. 間伐材の有効利用			
広葉樹の薪への加工・販売	<ul style="list-style-type: none"> ● 30m収納出来る薪小屋と22t薪割り機が配備されている。年15～20m³の薪を加工、販売する。 ● 現状のユーザーで対応が限度これ以上の販売先は作らない。 	30	0
◎苗木の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和3年3月現在シャクナゲ70本、ツツジ500本、モミジ80本、アカガシ30本、ミズナラ800本、その他ツツジの挿し木。● 今年度ミツマタ、アセビ、その他挿し木苗の育樹を予定。 	30	0
7. 管理事業			
◎機関紙発行	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成23年9月に第1号を発行し、令和3年3月までに39号発行している。(令和2年度は3回発行) ● 令和4年度は3回(5月,8月,1月)発行する。 	20	0
その他管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 年2回総会、理事会、連絡会、チーム打合せ会の開催ほか、書類作成・整理する。また、活動拠点(まなびの森)の整備を進める。 	50	0
計		1,321	1,134

* 参考:会員の延べ活動参加人数の実績
(過去5年間)

H29	H30	R01	R02	R03
1,652人	1,549人	1,493人	1,234人	1,407人

認定NPO法人《森林の風》からのお知らせ



◆イベント等のご案内

◎ 今年も御在所岳植樹祭が開催されます。森林の風も参加します。御在所岳山頂の植生回復に参加しませんか。詳しくは、御在所ロープウェイのホームページをご確認ください。

◎ 今、森林の風では、「まなびの森にピザ窯を作ろう」という小さなプロジェクトが進行しています。一緒に作りたい人募集中です。出来上がった暁には、おいしい焼き立てのピザをいただくことができます。多分。その他、キャンプで活躍するスウェーデントーチや、樹木の葉を利用したアロマオイルづくり、など、ご要望にお応えして様々なワークショップも開催可能となっております。詳細につきましては、ホームページのお問い合わせからお願いします。



◆レベルアップ研修について

今年は、前半で3回のレベルアップ研修会を実施いたしました(詳細は次号で紹介します)。後半も下記の内容で計画していきます。

- ◎ 8月27日(土) 「水木沢トレッキング」長野県木曾郡木祖村の水木沢天然林を訪ねます。
- ◎ 12月中旬 「チェーンソー技能テスト」自分のチェーンソー操作技術を確認します。
- ◎ 1月中旬 「ロープウィンチ講習会」ロープウィンチを使って、丸太の運搬・積み込みをします。
- ◎ 2月中旬 「森づくり基礎講座」10年先の森林を見据えた施業計画について考えます。

日程等が決まり次第ホームページにてお知らせします。

森林の風～最新データ～

2022年 7月31日現在

◆取組事業総数		31
◆活動フィールド	人工林	5
	里山整備	10
	竹林	1
◆フィールド総数		約100ha

2022年度4月から7月の累計

◆活動日数	41日
◆会員延べ参加数	432人
◆延べ受益者数	517人

設立来累計

◆植樹数	約11,950本
------	----------

森を守り育てる活動にご協力ください

寄付を募集!

年会費 (賛助会員)	個人 1口 3,000円
	法人 1口10,000円より
特典	年2回発行の機関紙「もりのかぜだより」や各種案内を送付させていただきます

加入社名：特定非営利活動法人 森林の風
郵便振込：00830-4-159060
通信欄に、おところ・おなまえ
ご連絡先電話番号をご記入ください



*ご協力ありがとうございました